別　添

高速３号渋谷線高架下火災に伴う調査状況について

Ⅰ．被害状況

別紙のとおり

Ⅱ．上り線について

１．調査状況

現地にて健全性を確認するため、以下の調査を実施しました。
なお、現場の安全を考慮し一部の調査は左車線側のみを実施しております。

・火災による桁の受熱温度推定（左車線側）
・桁変形量確認（左車線側）
・ボルトのゆるみ調査（左車線側）
・荷重車載荷試験（20ｔ×2 台）による応力測定

２．技術的調査結果及び判断

（１）技術的調査結果

左車線側の桁は低い受熱温度であったと推定されるが、右車線側の桁は高い受熱温度であったと推定される箇所がありました。

一方、桁及びボルトにおける損傷は軽微で、また、20ｔ荷重車 2 台による載荷試験の結果、計測値は解析値以下の結果であり特段の異常は見られませんでした。

（２）技術的判断

専門家とともに実施した現地確認及び各種調査の結果、大きな変状もなく正常な力の伝達が確認できたことから、左車線側については車両の通行に支障がないものと判断しました。

３．通行止め解除について

（１）左車線　損傷を受けた下り線の足場板の安全対策を行った上で、平成 26 年 3 月 21 日（金）24 時までに通行止め解除を行う予定です。

（２）右車線　本日夜半から足場板の撤去・再設置を行い、その後調査を行う予定です。その結果によっては一部変形を確認した桁の補強を行った上で通行止めを解除する予定です。日時については改めてお知らせします。

Ⅲ．下り線について

１．現場状況

本日昼過ぎに警察、消防の現場検証が終了しております。

２．今後の予定

本日夜半から足場板の撤去・再設置を行い、その後調査及び荷重車による載荷試験を行う予定です。その結果によって、桁の補強策等必要があれば検討し、対策を講じる必要があります。このため、通行止め解除までに時間を要するものと考えています。